

【令和6年公益法人会計基準】マスタ設定変更ポイント

ver.2510

科目マスタ

科目種別を一部変更、科目を組み替えています。

科目種別とは？

決算書や、決算書の項目(章)に応じた勘定科目の分類です。勘定科目は、科目種別毎に作成、登録しています。

WEB バランスマントラストでは伝票等を入力する際、科目種別を入力してから勘定科目を選択します。

■従来の科目種別例

対応決算書	科目種別	
正味財産増減 計算書	051	一般正味財産・経常収益
	052	一般正味財産・経常費用
	061	一般正味財産・経常外収益
	062	一般正味財産・経常外費用
	071	指定正味財産・増加
	072	指定正味財産・減少

■令和6年会計基準に対応した科目種別

対応決算書	科目種別	
活動計算書	051	経常収益
	052	経常費用
	061	その他収益
	062	その他費用
	082	振替額 他会計振替額 一般/指定純資産間の振替
	084	法人税等 法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額

【収支計算書を出力するお客様】収支計算書の科目種別に変更はありません。

収支計算書	011	事業活動収入
	012	事業活動支出
	021	投資活動収入
	022	投資活動支出
	031	財務活動収入
	032	財務活動支出
	042	予備費支出
	049	当期収支差額

Point1

平成20年会計基準に対応した科目種別は、正味財産増減計算書「指定正味財産の部」と「一般正味財産の部」で分類していましたが、令和6年会計基準では、指定純資産と一般純資産を科目種別で分けません。

Point2

従来の科目種別「071 指定正味財産・増加」「072 指定正味財産・減少」は無くなりました。
科目種別の削除と同時に「071 指定正味財産・増加」「072 指定正味財産・減少」付随科目も削除しました。
指定純資産に関する伝票を起票する際は、新しく追加となる項目「指定区分」を入力してください。

■科目種別、科目の組み替え ※赤字は新しく追加する科目です。

▼貸借対照表科目的組み替え例

【従来(平成20年会計基準)貸借対照表】		【令和6年会計基準】貸借対照表
基本財産		有形固定資産
土地	▶	土地
建物	▶	建物
...		...
特定資産		流動資産
○○積立資産(普通預金)	▶	普通預金
...		(特定)○○積立資産 *
その他固定資産		...
ソフトウェア	▶	無形固定資産
...		ソフトウェア
投資有価証券	▶	...
...		その他固定資産
		投資有価証券
		...

* 決済区分についてご注意事項があります(P. 4)

▼指定正味財産・増加、減少の削除に伴う組み替え例

【従来科目種別】071 指定正味財産・増加		【令和6年会計基準・科目種別】
基本財産運用益	▶	【科目種別 051 経常収益】
特定資産運用益		資産運用益
受取補助金等	▶	【科目種別 051 経常収益】
受取寄付金	▶	受取補助金等
基本財産評価益	▶	【科目種別 051 経常収益】
特定資産評価益		受取寄付金
【従来科目種別】072 指定正味財産・減少		【科目種別 000 貸借対照表】
基本財産評価損	▶	その他有価証券評価差額金 *
特定資産評価損		【科目種別 000 貸借対照表】
一般正味財産への振替額	▶	その他有価証券評価差額金 *
		【科目種別 082 振替額】
		指定純資産から一般純資産への振替額

*【仕訳例】投資有価証券の時価評価

借方	貸方
科目種別 000(貸借対照表)	科目種別 000(貸借対照表)
その他固定資産・投資有価証券	その他有価証券評価差額金

— 収支計算書を出力するお客様向け —

弊社で科目振り分け(マスタ設定)を行う場合、収支計算書の科目は、公益法人会計基準の運用指針(令和6年12月内閣府公益認定等委員会)に示されたキヤッッシュ・フロー計算書を参考に作成し、標準(デフォルト)設定としております。

令和6年公益法人会計基準においては、収支計算書の科目について明確な取り決めがありません。

収支計算書の科目の変更につきましては、お客様のご判断にてお願ひいたします。

▼収支計算書科目の組み替え例（投資活動支出の場合）

従来の例【科目種別】022 投資活動支出		登録例【科目種別】022 投資活動支出
基本財産取得支出 投資有価証券取得支出 ... 特定資産取得支出 ○○積立資産取得支出 ... 固定資産取得支出 什器備品取得支出 ...	▶	投資有価証券取得支出 投資有価証券取得支出 ... 使途制約のある資産の取得支出 * (特定)○○積立資産取得支出 ... 固定資産取得支出 什器備品取得支出 ...

* 自動仕訳設定についてご注意事項があります(P. 5)

決済区分マスタ

決済区分を初期設定していない現預金科目がありますのでご注意ください。

決済区分とは？

収入支出伺書入力メニュー「決済区分」項目で必要となる支払・収入方法の選択値です。

普通預金や未払金等を決済区分として、決済区分マスタに登録します。

※振替伝票入力メニューでも貸方入力時に「決済区分」項目をご利用できます。

特定資産から移動した普通預金科目については、決済区分を登録していません。

(特定)〇〇積立預金等、特定資産から移動した普通預金科目の仕訳は、振替伝票入力メニューにて起票してください。

令和6年会計基準では「基本財産」「特定資産」科目は廃止となり、〇〇積立預金等の科目は流動資産へ移動しています。

旧科目

特定資産
〇〇積立預金

※決済区分は初期設定では、登録していません

流動資産・普通預金
(特定)〇〇積立預金

特定資産から移動した普通預金科目は、初期設定では決済区分を登録していませんが、登録を制限するものではありません。

〇〇積立預金等、特定資産から移動した普通預金科目を以下で利用するお客様は、決済区分の登録が必要です。

- 銀行振込データの作成(銀行振込データ一覧表)
- 収入支出伺書入力メニューでの伝票起票

【決済区分マスタ】にて、決済区分を新規登録してください。

※決済区分マスタ操作マニュアル

決済区分の新規登録はサポートデスクでも行っておりますのでお気軽にお申し付けください。

仕訳マスタ

— 収支計算書を出力するお客様向け —

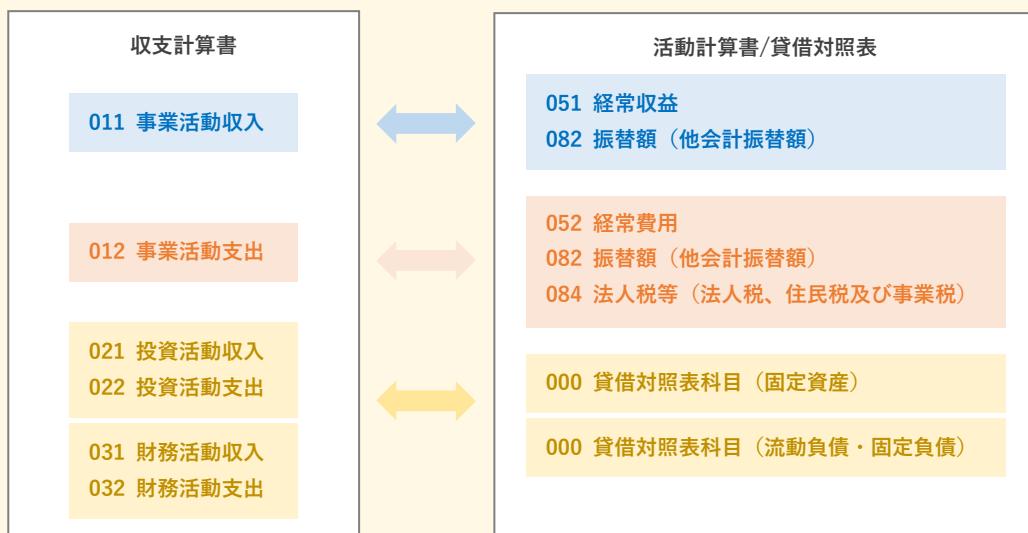
収支計算書の科目は、令和6年公益法人会計基準におけるキャッシュ・フロー計算書を参考に作成し、標準(デフォルト)設定としております。なお、令和6年公益法人会計基準においては、収支計算書の科目について明確な取り決めがありません。そのため、取引内容に応じた自動仕訳の発生有無は、お客様にてご判断いただきますようお願ひいたします。デフォルトの設定から変更をご希望の場合は、サポートデスクまでお申し付けください。

収支計算書の科目を登録されているお客様は、【仕訳マスタ】メニューで自動仕訳の設定をしています。

自動仕訳とは、一取引に対して、「貸借対照表」「活動計算書」「収支計算書」を作成するための仕訳(一取引二仕訳)を起票する際に、設定内容に応じて自動作成される仕訳のことです。

仕訳マスタは、「貸借対照表」「活動計算書」科目と、「収支計算書」科目を紐づけて、自動仕訳を設定するマスタです。

各伝票起票時に「自動仕訳」項目にチェックを入れて登録することで自動仕訳が発生し、一取引二仕訳を作成することができます。



▼従来の仕訳マスタから設定変更となった自動仕訳の一覧

	変更内容	
【活動計算書】他会計振替額 【収支計算書】他会計からの繰入金収入 他会計への繰出金支出	科目種別の変更	科目種別 CD:082(振替額) 【活動計算書】他会計振替額 従来どおりデフォルト設定として仕訳マスタを登録しています。
【活動計算書】法人税、住民税及び事業税 【収支計算書】法人税、住民税及び事業税支出	科目種別の変更	科目種別 CD:084(法人税等) 【活動計算書】法人税、住民税 及び事業税 収支計算書の科目がある場合は、 従来どおりデフォルト設定として仕訳マスタを登録しています。
【収支計算書】使途制約のある資産の取崩収入 使途制約のある資産の取得支出	新規科目 仕訳マスタなし	デフォルト設定として仕訳マスタは登録していません。

自動仕訳で発生する科目(【仕訳マスタ】登録設定)は、導入時にお選びいただいた伝票入力科目によって異なります。伝票入力科目とは、予算や伝票を登録する際に選択する科目のことです。

■伝票入力科目： 活動計算書科目(旧:正味財産増減計算書科目)

収支計算書科目

他会計振替額

令和6年会計基準では、科目種別が変更となりました。他会計振替額は科目種別 082(振替額)に登録しています。

※収支計算書の科目種別に変更はありません。

■仕訳例

※点線枠が自動仕訳です。※科目名称はお客様により異なる場合があります。

伝票入力科目：活動計算書科目

借方	貸方
科目種別 082(振替額)	
他会計振替額	普通預金
自動仕訳✓	
科目種別 012(事業活動支出)	
他会計への繰出金支出	当期収支差額

借方	貸方
普通預金	科目種別 082(振替額)
	他会計振替額
自動仕訳✓	
当期収支差額	科目種別 011(事業活動収入)
	他会計からの繰入金収入

伝票入力科目：収支計算書科目

借方	貸方
科目種別 012(事業活動支出)	
他会計への繰出金支出	普通預金
自動仕訳✓	
科目種別 082(振替額)	
他会計振替額	当期収支差額

借方	貸方
普通預金	科目種別 011(事業活動収入)
	他会計からの繰入金収入
自動仕訳✓	
当期収支差額	科目種別 082(振替額)
	他会計振替額

法人税、住民税及び事業税

令和6年会計基準では、科目種別が変更となりました。法人税、住民税及び事業税は科目種別 084(法人税等)に登録しています。

※収支計算書の科目種別に変更はありません。

※従来の収支計算書の科目に法人税、住民税及び事業税がある場合は、令和6年会計基準でも登録しています。

■仕訳例

※点線枠が自動仕訳です。※科目名称はお客様により異なる場合があります。

伝票入力科目：活動計算書科目	
借方	貸方
科目種別 084(法人税等) 法人税、住民税及び事業税	/ 未払金
自動仕訳✓ ↓	
科目種別 012(事業活動支出) 法人税、住民税及び事業税支出	/ 当期収支差額

伝票入力科目：収支計算書科目	
借方	貸方
科目種別 012(事業活動支出) 法人税、住民税及び事業税支出	/ 未払金
自動仕訳✓ ↓	
科目種別 084(法人税等) 法人税、住民税及び事業税	/ 当期収支差額

使途制約のある資産の取崩収入・使途制約のある資産の取得支出

科目種別:021(投資活動収入) 使途制約のある資産の取崩収入 ／ 科目種別:022(投資活動支出) 使途制約のある資産の取得支出
令和6年会計基準から、収支計算書・投資活動収支の部へ新たにデフォルト科目として登録しています。

仕訳マスタは登録していないため、自動仕訳は発生しません。

こちらの科目的仕訳が必要となる場合は、起票時に仕訳を入力してください。なお、仕訳発生有無はお客様にてご判断ください。

- ✓ 従来は、収支計算書の「基本財産取崩収入」「特定資産取崩収入」と、貸借対照表の「基本財産」「特定資産」を仕訳マスタに登録し、標準として自動仕訳設定していました。

令和6年会計基準では「基本財産」「特定資産」の科目は廃止となり、〇〇積立資産等の科目は「流動資産／普通預金」に分類されます。

■仕訳例 1

※点線枠が自動仕訳です。※科目名称はお客様により異なる場合があります。

伝票入力科目：【共通】活動計算書科目 / 収支計算書科目

借方	貸方
普通預金	普通預金・〇〇積立預金

仕訳マスタに登録していないため、必要なお客様は起票時に仕訳を入力してください。

科目種別 049(当期収支差額)	/	科目種別 021(投資活動収入)
当期収支差額		使途制約のある資産の取崩収入

■仕訳例 2

伝票入力科目：活動計算書科目

借方	貸方
普通預金・〇〇積立預金	科目種別 051(経常費用) 受取補助金等

自動仕訳✓

当期収支差額	/	科目種別 011(事業活動収入)
		補助金等収入

仕訳マスタに登録していないため、必要なお客様は起票時に仕訳を入力してください。

科目種別 022(投資活動支出)	/	科目種別 049(当期収支差額)
使途制約のある資産の取得支出		当期収支差額

伝票入力科目：収支計算書科目

借方	貸方
普通預金・〇〇積立預金	科目種別 011(事業活動収入) 補助金等収入
当期収支差額	自動仕訳✓ 科目種別 051(経常費用) 受取補助金等

仕訳マスタに登録していないため、必要なお客様は起票時に仕訳を入力してください。

科目種別 022(投資活動支出) 使途制約のある資産の取得支出	／	科目種別 049(当期収支差額) 当期収支差額
------------------------------------	---	----------------------------